

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
平成28年度事業 点検・評価調書

5-II-11

5-II
-11

章	第5章 世界遺産を核とした魅力ある地域づくり		取組項目	空き家や耕作放棄地の活用
	節 II. 伝統文化・地場産業の振興			
事業(施策)名	11 耕作放棄地等の再生・活用		事業主体	佐渡市農林水産課
	事業実施期間	H28～H34	関連団体	佐渡地域振興局農林水産振興部、佐渡市観光振興課
事業概要	【事業目的】 ○ 耕作放棄地等を再生・活用することにより、地域振興及び交流人口の拡大を図る。			
	【事業内容】 ○ 農作業、収穫体験等、グリーンツーリズムを活用した交流事業の実施や、棚田や果樹等のオーナー制度の拡充を図る。			
事業実績	【事業成果】 ●小倉千枚田の景観保全のため、地元管理組合が中心となり、オーナー制度を実施した。店員63名のうちリピーターが8割を超えるなど事業の定着が図られている。オーナーとの交流イベント(田植、稲刈り)では約150名の参加者があり、また、草刈などの作業ボランティアにも延べ150名が参加し、1年をとおして、小倉千枚田の文化的景観の保全と活用に取組んだ。 ●岩首棚田では、その景観や地域資源を活用した交流活動が進められた。観光協会と連携した散策ツアーと、ボランティアガイドで年間443名の観光客等を受入れるとともに、旧岩首小学校を交流拠点として、600名を超える大学生を受入、竹林の整備をはじめ、里山保全を核とした交流活動が推進された。			
	今後の取組・課題	【課題】 ●小倉千枚田オーナー制度はリピーター率が高いなど、定着が図られているが、地元管理組合の担い手が不足しており、労力負担が大きいことから、事業の持続可能性が危ぶまれている。また、オーナー田の上部にある田んぼが耕作放棄地となり、そのまま放置すると災害が発生し、オーナー田にも影響を及ぼすこととなる。		
【今後の取組】 ●小倉千枚田オーナー制度の持続可能性を高めるため、土地賃借料の見直しなど、経費負担を軽減するとともに、地元管理組合の適切な収益を確保し、事業継続を高めていく。更に、佐渡棚田協議会が積極的にに関わり、オーナー田周辺の耕作放棄地をオーナー田として活用するなど、新たな魅力、メニューを開発することで、交流促進を図る。				
事業評価	【事業の達成度】 [a (b) c]			
	【事業実施の効果】 [a (b) c]			
	【総合評価】 [A (B) C]			

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。